

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。  
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

## 大田原市版親学習プログラム

大田原市では、保護者の学びを支援するだけでなく、保護者同士のネットワークが構築されるきっかけとなるように、毎年、就学時健康診断時に「親学習プログラム」というワークショップを保護者向けに実施しています。

今年度は、「ありがとう運動」を家庭・地域に広げる機会にもなるように、「ありがとう運動」に関連するプログラム「ありがとうってありますか？」を大田原市教育委員会独自で作成し、実施しました。保護者の皆様からは「非常にためになった。」「すばらしいワークショップだと思う。」といった声が多数寄せられました。

また、就学時健康診断では、栃木県の親学習プログラム指導者研修を終了した大田原市家庭教育オピニオンリーダー連絡会「た・まごの会」の方々が進行役（ファシリテーター）として活躍しました。

就学時健康診断以外にも、学校の保護者会や地域の集会でも、依頼があれば「た・まごの会」の皆さんがこのプログラムの進行役を行いますので、ぜひ大田原市生涯学習課まで御連絡ください。

また、プログラムの内容についてのお問合せがあれば、こちらも生涯学習課までお願いします。  
(0287-23-2100)



保護者同士の話し合いの様子

## サイクリングin那須・大洗

那須町では、茨城県大洗町と平成24年から友好都市協定を結んでいます。両町の交流事業として、11月15日（日）に「サイクリングin那須・大洗」が開催されました。

サイクリングin那須・大洗は、那須町から「あんこう祭り」が開かれている大洗町へ向けてロードバイクで走るイベントです。また、那須町からのサイクリストと大洗町からのサイクリストが途中で合流し、交流を深めながら大洗町を目指しました。

そして、那須町から大洗町まで約110kmのコースを、誰1人欠けることなく無事に完走することができました。長い道のりを助け合いながら走破したことで、那須町・大洗町の友好は更に深まりました。



まだまだ余裕かな？



全員が達成感で笑顔に！

## 第10回那須塩原ハーフマラソン

11月3日（火・祝）の秋晴れの下、くろいそ運動場を主会場に第10回那須塩原ハーフマラソンが開催されました。

会場では黒磯巻狩太鼓の演奏があり、更に大会が盛り上がりました。

ゲストランナーには、テレビでもおなじみの、芸能界きっての健脚の持ち主である、猫ひろしさんを迎え、ハーフ・5km・3km・2km・1kmの5コースで2500人を超えるランナーが気持ちのよい汗を流しました。

選手たちは走り終えた後に、例年好評を得ている無料配布のなめこ汁や、地元産の牛乳で疲れた体を癒やしていました。また、ハーフの部で優勝した男女各1名には、『おきなわマラソン』への招待券が贈られました。



沿道では多くの声援が贈られました！

## 笑いの芸能「寄席」にふれて ～栃木県巡回伝統芸能公演より～

11月5日（木）に那須塩原市立塩原小中学校にて、栃木県巡回伝統芸能公演が行われました。この事業は、公益財団法人 日本青少年文化センターの「巡回伝統芸能公演事業」を利用して、毎年県内の優先地区を中心に公演が行われています。

今年は「寄席」による公演で、会場である体育館には「高座」と呼ばれる舞台が設置され、本格的な舞台を目の前にして、子どもたちは始まる前から期待に胸を膨らませていました。

公演は二部構成で進み、第一部の「高座にあがろう！」では、落語の説明や寄席囃子の実演と体験が行われ、太鼓の体験には児童2名が、小咄の体験には生徒2名がそれぞれ代表で高座に上がりました。

第二部は、落語と太神楽が披露されました。落語は小・中学生と一緒に聞いても楽しめる内容で、会場は終始笑いに包まれていました。太神楽は伝統的な曲芸で、傘の上で様々な物が回る度、大きな歓声が上がりました。

約90分の公演は、日本の伝統芸能のすばらしさにふれることができた充実した時間となりました。



寄席囃子は難しいな 柳家萬太夫さん落語